



# 赤+字ありがとう通信 NO.16

みなさまのおかげで、私たちの活動が成り立っています。  
赤十字の様々な取組みを紹介します。

**+** 日本赤十字社 広島県支部  
Japanese Red Cross Society

発行日／令和4年9月1日 発行／日本赤十字社広島県支部 〒730-0052広島県広島市中区千田町2丁目5-64

## ウクライナ人道危機における日本赤十字社の対応

令和4年2月24日以降、ウクライナで戦闘が激化し、子どもを含む市民の死傷者が報告され、1,500万人以上がウクライナ国内外に避難するなど、極めて深刻な人道危機が発生しています。

支援の最前線では、現地の赤十字社がボランティアを動員し、水、食料、衣類、寝袋など生存に不可欠な物資等の支援をはじめ、医療やこころのケア、安否調査などの活動を行っています。

日本赤十字社は、「ウクライナ人道危機救援金」の募集を行い、国際赤十字に対し、計50億円の資金を拠出しました。(8月5日時点)

また、ウクライナ国内における臨時診療所の開設支援に薬剤師を1名、隣国モルドバに緊急救援要員を1名、ハンガリーに連絡調整員1名を派遣するなど人的貢献も展開しています。



ウクライナに設置した仮設診療所に届いた薬品を運ぶ  
日本赤十字社職員



モルドバで緊急救援要員として活動する  
日本赤十字社職員



ウクライナで負傷した人々に応急的な処置を施す  
国際赤十字委員会のスタッフ



ウクライナで物資を配布するボランティア  
©Finnish Red Cross/Mika Palonen



ウクライナの鉄道駅でおもちゃや物資を  
配付するボランティア  
©デンマーク赤十字社



ウクライナ首都キーウ周辺で救援活動を行う  
ウクライナ赤十字社職員  
©ウクライナ赤十字社

● 水・食料・毛布など救援物資の配布	<b>207万人</b>
● 一時避難所の提供	<b>49万人</b>
● 家屋の修繕支援	<b>5,300戸</b>
● 安全な水の調達手段の確保	<b>920万人</b>
● 衛生キットの配布	<b>107,950人</b>

## ウクライナ 人道危機における 赤十字の活動実績

※活動の一部を抜粋して紹介しています。

● 生活支援金の給付	<b>106,100人</b>
	(約11億5,000万円)
● 救急法(応急手当)の指導	<b>52,750人</b>
● 心理社会的支援(こころのケア)	<b>31,951人</b>
● 医療施設への医療機器の提供	<b>40施設</b>

## ウクライナ人道危機救援金

日本赤十字社は、国際赤十字機関が実施するウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するため、ウクライナ人道危機救援金を受け付けています。

▶写真は当支部において救援金を受領した一部団体等  
(左から) 広島県商工会連合会様、広島市様



# 広島県支部の活動

## 災害救護活動

## 令和4年度救護員基礎研修会



5月、県内赤十字施設の新任教護員を対象に基礎研修会を開催しました。この研修会は、災害救護活動の基礎知識・技術の習得を目的として実施しています。

今回は、スタッフを含め約50名が参加し、災害時の診療記録、トリアージタグの記載等の実技、無線機を使用した情報収集、現場救護所の設営・運営シミュレーションを行い、大規模化する災害に備え、災害救護体制の強化を図りました。

◀ 災害時の診療記録の講義

## 講習普及・防災

## 安佐南防災フェス! 2022

5月、イオンモール広島祇園主催の防災イベント「安佐南防災フェス! 2022」に参加しました。

このイベントは、安佐南区及びその周辺住民の防災意識の向上を目的に開催され、消防・警察・自衛隊などの防災関係機関も参加しており、当支部はAEDの使い方や心肺蘇生法の体験ができるミニ講習コーナー、災害救護活動のパネル展示、災害救援車両の乗車体験ができるブースを出展し、500人以上の地域住民が訪れました。

AEDの使い方の講習 ▶



## 青少年赤十字

## 青少年赤十字広島県高等学校協議会総会



青少年赤十字は県内の保育所から高等学校まで計263校(所・園)が加盟し、加盟校の児童・生徒たちは人道を基本とする赤十字精神に基づいたボランティア活動などを行っています。

7月、青少年赤十字広島県高等学校協議会を開催し、生徒・教員約40名が参加しました。

総会では、自己紹介、令和3年度の活動報告、令和4年度活動計画や夏の献血キャンペーンの資料づくり、1年生を迎える会(レクリエーション)などを行い、青少年赤十字メンバーの交流を深めました。

◀ 1年生を迎える会(レクリエーション)



青少年赤十字は、本年創設100周年を迎え、当支部は特別事業「100万羽おりづるプロジェクト」を実施しています。

「100万羽おりづるプロジェクト」の制作では、県内307の学校と50の企業等にご参加をいただき、**約122万羽**を制作する見込みとなりました。

園児・児童・生徒の皆さま、学校関係者の皆さま、企業等の皆さまにおいては、ご参加いただきましてありがとうございました。

◀ 児童が制作した「おりづる」を受け取る様子(広島市立幟町小学校)



これらの活動は、広島県にお住まいのみなさまからのご寄付で行っています。  
引き続き、赤十字へのご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。



お問い合わせ



日本赤十字社 広島県支部  
Japanese Red Cross Society

〒730-0052 広島県広島市中区千田町2丁目5-64

TEL 082-545-5011 (直通)

担当課：組織振興課

日赤 広島県支部

検索